



羽毛のリサイクル ～焼却から循環資源へ～



不要な羽毛製品を回収



障がい者福祉サービス
事業所「ありんこ」による
製品解体



大台ヶ原の還元力の強い超軟水で羽毛を
研ぎ洗い・回復加工



年間約100トンの羽毛を回収し
約180トンのCO2削減実績！

環境省・経済産業省 × KWD
⇒2020年 羽毛業界世界初のSBT登録

全国のアパレル・寝装会社 × KWD
⇒2017年 愛知環境賞 優秀賞 受賞

三重県の社会福祉協議会 × KWD
⇒2013年 第二回みえ環境大賞 環境活動部門 受賞



ダウンジャケットや羽毛ふとんに再利用



働きがいも経済成長も

障がい者と共に働き、共に成長

羽毛リサイクル事業への協力組織

1. 三重県 障がい者福祉サービス事業所 ありんこ

<http://www.ma.mctv.ne.jp/~mei-skyo/arink0.html>

2. 愛知県 社会福祉法人すぎな

<http://sugina-smily.com>

3. 名古屋ハートステーションプロジェクト

<https://nagoya-heartstation.jp>

委託作業（年間1000万円弱の発注依頼）

- ・使用済み羽毛製品の回収・解体作業
- ・羽毛の回収袋の整理・発送作業
- ・破魔矢用矢羽の数量確認
- ・明和工場の草刈り作業 など

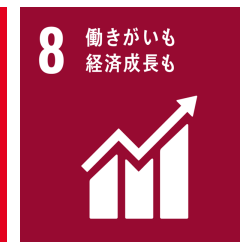
羽毛のリサイクル

【羽毛リサイクルのフロー図】



使用済み羽毛製品の解体作業





支援を受ける側からする側へ

共に協働し、積極的な社会参加を達成

三重県明和町障がい者福祉サービス事業所「ありんこ」から
明和町赤い羽根共同募金に寄付(2019/11)

地域貢献型の羽毛リサイクル活動「UMOUプロジェクト」
を通じて、「ありんこ」は使用済み羽毛製品の回収・分解・
仕分け作業を行う

2018年度には年間作業収益は400万円を超え、
収益の一部が明和町共同募金委員会へ寄付されました

障がい者施設が寄付を行うのは県内初

寄付式の様子



現在の取り組み(事例紹介)

使用済み羽毛製品を回収し「リサイクル羽毛」として再生、CO2削減へ

＜羽毛のリサイクル事業における役割＞

回収：各行政、社会福祉協議会及びアパレル・寝装メーカー

解体：障がい者福祉サービス事業所「ありんこ」

生産：河田フェザー（以下「KWD」とも表記）

販売：アパレル・寝装メーカー

普及：テレビ・新聞・雑誌などの各メディア

他プロジェクトでCO2排出量削減へ

1. 経済産業省及び環境省協賛のCO2削減プロジェクト参加（2015/11）
重油からLPガス式ボイラーへの設備投資
2. 環境省主催のCO2削減プロジェクト参加（2020/4）
「中小企業向けSBT・再エネ100%目標設定支援事業」参加
3. 国連関連機関主催のCO2削減プロジェクト参加（2020/11）
「Science Based Target」へ登録
羽毛業界世界初、寝装業界日本初